

# 研究会「飛びたて！新しい高校理科教育へ」



東京理科大学教育支援機構理数教育研究センターでは、高校～大学レベルの内容を小学生に理解させる技術を大学院生に養わせるなど、実力ある理科教員の養成をめざした研究教育活動を行っています。このたび本センターでは、日本の理数力強化に資するべく、中学・高等学校の現職理科教員や理科の教員養成を担当される方々を主な対象とする研究会を企画しました。

文部科学省は昨年秋から、次の教育課程に向けた検討を始めています。また、大学入試センター試験も大きく変わろうとしています。小手先で問題が解けるだけの学生では、世界のイノベーションの流れに通じる理系人材の養成は困難であり、また、理科指導を行う教員自らが力量をもち、次世代層の教育に取り組む必要があります。

理数教育のあるべき姿を真剣に考えてこられた3名の話をつき、参加者の方とともに活発な意見交換を行う予定ですので、奮ってご参加ください。

日 時：平成27年12月13日（日） 13：30～17：30（受付13：00～）

場 所：東京理科大学 神楽坂校舎 2号館1階212教室

対 象：中学・高等学校の現職教員、教員志望の本学学生（大学院・学部）、  
理科の教員養成関係者、本学教職員、一般の参加者

主 催：東京理科大学 教育支援機構 理数教育研究センター 理科教育研究部門

参加費：無料

申込方法：理数教育研究センターHP (<https://oae.tus.ac.jp/mse/>)よりお申込み下さい。

アクセス：

■JR 総武線、地下鉄有楽町線、東西線、

南北線飯田橋駅下車 徒歩3分

■大江戸線飯田橋駅下車 徒歩10分



## ■■■ プログラム ■■■

13:30～13:35 開会挨拶

第1部 13:35～15:35 講演

基調講演 13:35～13:55

「水槽は湛え、泉は湧き出す」

秋山仁（東京理科大学理数教育研究センター長）

講演1 14:00～14:45

「古くからいわれている新しい理科教育」

清原洋一氏（文部科学省初等中等教育局主任視学官）

講演2 14:50～15:35

「ヨーロッパの理科教育の現状」

山下芳樹氏（立命館大学産業社会学部現代社会学科教授）

----- コーヒーブレイクと語りあう会 15:35～16:00 -----

第2部 16:00～17:25 パネルディスカッション「理科教育をどう変える？」

パネリスト

清原洋一氏（文部科学省初等中等教育局主任視学官）

山下芳樹氏（立命館大学産業社会学部現代社会学科教授）

渡辺 正（東京理科大学理数教育研究センター教授）

司会

川村康文（東京理科大学理学部第一部物理学科教授）

17:25～17:30 閉会挨拶

### 【講師紹介】

きよはらよういち

清原洋一氏：文部科学省初等中等教育局主任視学官

2013年4月より現職。中学校理科・高等学校理科の学習指導要領および解説の編纂、教育課程実施状況調査、特定の課題に関する調査、全国学力・学習状況調査等の国内調査の問題作成や分析などにかかわる。また国際学直調査PISA及びTIMSSにも国内委員としてかかわる。新学習指導要領「生きる力」の目標を解説する。

やましたよしき

山下芳樹氏：立命館大学産業社会学部現代社会学科子ども社会専攻・教授

2007年4月より現職。児童・生徒の学びの視点に立った理科教育の確立、初等・中等教育を貫く学習者の主体的学習を促す教材構成のあり方等を研究テーマとしている。児童・生徒の学びの視点に立った理科教育の確立への有り方について、欧州における新たな理科教育の進展をもとに考えたい。

※講演者、講演題目は変更になる場合があります。